

学生チャレンジプロジェクトSDGs活動報告書



プロジェクト名:中山間地域における魅力向上および活性化プロジェクト

プロジェクトのターゲット目標(17項目)を○で囲んでください。

No.27

No.01 No.02 No.03 No.04 No.05
No.06 No.07 No.08 No.19 No.10
○No.11 No.12 No.13 No.14 ○No.15
No.16 No.17

【活動報告】

地域住民を交えたワークショップおよび企画提案を定期的に行い、より魅力が向上するために必要な観点等を話し合っている。本プロジェクト内では、6月に行われた山道整備・製作ワークショップ、7月に行われた星空デッキ製作ワークショップ、9月に行われた町職員・まちづくり会社を交えたワークショップ10月に行われた山道整備・星空テラス最終調整ワークショップにて中山間地域における魅力向上に寄与する活動を行ってきた。さらに、3月にはウッドデッキ製作ワークショップを予定しており、今後も設楽町の魅力向上に貢献できる活動を行っていく予定である。

本プロジェクトは、中山間地域活性化のために観光まちづくりの観点から重要な位置づけとなる宿泊施設において地域住民との交流の場となる空間を充実させることにより中山間地域の活性化および観光まちづくりに寄与することを目標とするプロジェクトである。

設楽町の住民および学生が主体となって企画から施工まで携わり、誰もが参加しやすいまちづくりを目指すために、住民を交えたワークショップを開催することで、住民の意見を直接得ることができ、住み続けるため、誰もが気軽に使えるために必要な策を講じることができた。このことにより、地域のつながりやまちとしての魅力の向上に寄与することができた。この活動を通して目標11ターゲット7「2030年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を usable できるようにする。」に貢献することができた。

設楽町は町域の約9割が森林である。その一方で、人口の減少や働き手の不足といった観点から今後、森林等の手入れが進まない可能性が考えられる。本プロジェクトにおいて森林および放置竹林の伐採および管理、設楽町の未来のために手入れを行い、森林の未来に少しでも寄与できる取り組みを行うことができた。また、伐採した木や竹を星空デッキの座面や階段の土留め等に有効利用することで、伐採後の新たな可能性を微力ではあるものの示すことができた。この活動を通して目標15ターゲット2「2030年までに、あらゆる種類の森林の、持続可能な形の管理をすすめる、森林の減少をくいとめる。また、おとろえてしまった森林を回復させ、世界全体で植林を大きく増やす。」に貢献することができた。

写真



写真



団体紹介

自然素材を活用した施工DIYにより中山間地域の活性化および観光まちづくりに寄与することを目標に活動を行っている。